

金子鷹之助 （鷹之助） 經濟史學者。明治二十五年十一月七日京都生れ。昭和二十六年五月七日歿（六九—一九五三）。東京商科大学卒。歐洲留學後同大教授。

著書『イエスとパウロ・基督教社教会思想史』（昭和二年）二月十五日本
 回文館）、『社會哲學史研究』（昭和四年六月十日巖松堂書店）、『新
 説を採る』（合著・東京日日新聞社經濟部編、昭和十年八月—十二年八月
 本評論社）、『龍澤蕃山と佐久間象山』（昭和十六年六月—二十日日本
 放送出版協會「ラジオ新書」）、『日本精神と日本産業』（昭和十六
 年八月十五日本科學主義社・業社）、『世東動亂と新經濟史觀』（昭和十
 六年十一月八日厚生閣）、『大東亞經濟と青年』（昭和十七年十一月
 十日潮文閣）、『學徒宣言』（合著・白井喜之介編、昭和十八年一月
 —二十日京都・白井書房）、『佐久間象山の人と思想』（昭和十八年八月
 月二十一日今日の問題社「國民教養新書」）、『大東亞經濟の推進』（
 昭和二十年一月十五日青葉書房）等。